

令和元年度

事業報告

特別養護老人ホーム せとうち
小規模多機能ホーム せとうち

1. 入居者の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 長期入居

① 入居者数

区分	男	女	合計		
入居者数	16人	64人	80人	最高齢	102歳
入所	9人	15人	24人	最年少	44歳
退所	3人	20人	23人	平均年齢	87.2歳

② 入居者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	1	0	1
60～69歳	2	2	4
70～79歳	2	6	8
80～89歳	6	16	22
90～99歳	7	36	43
100歳～	0	2	2
計	18	62	80

③ 入居者要介護度別一覧表（人）

要介護度	男	女	計
要介護1	1	0	1
要介護2	0	1	1
要介護3	3	12	15
要介護4	8	21	29
要介護5	6	28	34
計	16	64	80
平均介護度	4.1		

(2) 短期入居

① 利用状況 *H30.4～R2.3 末までの総数

性別	利用者数				
男	49	最高齢	102歳	実施日数	366日
女	85	最年少	58歳	利用延人数	7283人
計	134	平均	85.47歳	一日当たり利用者数	19.8人

② 利用者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	1	1
60～69歳	2	3	5
70～79歳	13	8	21
80～89歳	24	38	62
90～99歳	10	33	43
100歳～	0	2	2
計	49	85	134

③ 入居者要介護度別一覧表（人）

要介護度	男	女	計
要支援1	1	1	2
要支援2	1	0	1
要介護1	12	25	37
要介護2	10	20	30
要介護3	7	15	22
要介護4	13	12	25
要介護5	7	10	17
計	51	83	134
平均介護度	2.5		

(3) 稼働率表

別紙1 参照

2. 援助実施の状況

(1) 生活援助

① 食事の提供と援助

個別に入居者一人ひとりに見合った適正な栄養管理を行い、季節感のある美味しい食事を提供できるよう努めた。季節感のある食事を提供する為、毎月1日は赤飯の日とし、月1~2回はお寿司の日を設け、その他にも年2回の昼食バイキングとデザートバイキングや季節行事食、各フロアでの食事・おやつレク、レストランなどへの外出レクを取り入れている。低栄養状態の改善に努めることで生活意欲の向上を図り、また栄養士、看護師を中心として体重の減少や極端な増加を予防することで健康の維持に努めた。誤嚥防止に努め、一人ひとりのペースに合った食事の摂り方に取り組んできた。

② 口腔ケア

歯科医師の助言・指導の下、日々の口腔ケアを徹底し、口腔機能の維持に努めた。

③ 入浴援助

ご本人の身体状況に合わせ、個浴、機械浴の中からより安全な入浴方法を選び、必要に応じて看護師も付添を行い、最低週2回入浴を実施した。体調の悪い時は、清拭・陰部洗浄などで清潔保持に努めた。

④ 排泄援助

個々の入居者の排泄リズムを把握し、可能な限りトイレでの排尿・排便を行うとともに、オシメを外し、布パンツの使用へ変更することにも取り組んだ。介助の際には、羞恥心・プライバシーに配慮し、清潔保持や不快感の軽減に努めた。またオシメ交換を行う際には、「フレッシュ行きます」と声を掛け合うようにした。

⑤ 外出援助

行事外出の他にも、誕生日、買い物、ドライブなど個別外出にも力を入れ、外出の機会を増やすよう努めた。ご自宅でご家族との時間を過ごしていただけるよう、ご家族の協力の元、自宅への外出支援にも力を入れた。安全に配慮しながら外出を行った。

(2) 健康管理

入居者の日常の健康状態については、常に情報把握するとともに、身体の変化、又は異常が認められた場合には、嘱託医の診察や、状況報告を行い適切な対応を行った。

①入居者の健康管理

毎日の健康状態を把握し、服薬、常備薬の管理及び往診、通院の調整を図った。秋にはインフルエンザの予防接種を実施し、希望に応じて肺炎球菌ワクチンの接種も行った。

②嘱託医師による定期的な診察

週2回(水・金) 藤田病院 山田 Dr 往診

随時 中里歯科医院 往診

③健康診断(藤田病院)

④協力病院との提携(入居者の通院及び入院)

⑤感染予防対策

環境衛生及び消毒の徹底、職員の手洗い・うがい、居室、フロアの換気の励行、来館者の手指の消毒・マスク着用の徹底、予防策周知に努めた。

⑥職員の衛生管理

職員個々の衛生管理、健康管理について適切な助言を行う。夜勤者以外の職員については年1回、夜勤者に対しては年2回の健康診断と腰痛検査を実施した。

⑦日常生活動作の維持

作業療法士・理学療法士の指導の下、レクや日々の生活の中で体を動かしていただく機会を作り、機能の維持に努めた。

(3) 感染症対策

入居者・職員ともに手洗い・うがい・消毒・換気を励行し、集団生活下での感染症予防に努めた。職員に対しては、出勤時に体温計測と健康チェック表の記入を義務付け、健康状態の把握を行った。H31.4月～R02.3月にインフルエンザの発症者が発生した(利用者6名(内ショートステイ0名)、職員5名)。そのため、面会者に手洗い・うがいの実施、マスク着用をお願いした。

(4) 生活環境の整備

各フロアの共同生活室や廊下へ季節ごとの飾りつけを行ったり、観葉植物や花、小動物を設置するなどし、家庭的で明るい雰囲気作りに努めた。

3. 行事・ボランティア等について

(1) 行事・ボランティア等

実施日	行事内容	場所
4月上旬	花見(各部署)	西大寺観音院・上寺 等
4/7	音楽の時間	新館地域交流ホール
4/24	臨床美術	新館地域交流ホール
4/27	家族会(大掃除)	せとうち全体
5/12	母の日・音楽の時間	各フロア
5/22,24	バイキング	新館地域交流ホール
6/4	ちとせ保育園 芋苗植え	せとうち畑
6/7	今城幼稚園 芋苗植え	せとうち畑
7/4	熊山英国庭園外出	熊山英国庭園
7/26	居酒屋レク	新館地域交流ホール
8/29	サンシャイン合唱団	新館地域交流ホール
8/31	藤花会(夏祭り)	せとうち敷地内
9/5	トーンチャイム	新館地域交流ホール
9/16	敬老会	新館地域交流ホール
10/22	ちとせ保育園 芋掘り	せとうち畑

10/25	デザートバイキング	新館地域交流ホール
10/30	今城幼稚園 芋掘り	せとうち畑
11/2	日本舞踊ことみ会	新館地域交流ホール
11/22	せとうち交流会	新館地域交流ホール
12/6	今城幼稚園 交流会	新館地域交流ホール
12/14	太伯なでしこ連 (ボランティア)	新館地域交流ホール
12/18,20	忘年会バイキング	新館地域交流ホール
12/25	クリスマス会	各フロア
12/27	もちつき大会	本館 1 階中庭 本館地域交流ホール
1 月上旬	初詣	各フロア
1/10	とんど焼き	本館地域交流ホール外
2/14	チョコクッキー作り	各フロア
3/12	せとうち交流会 (中止)	新館地域交流ホール

【その他】

- ・ 定期ボランティア
 - ・ 移動図書館…第 3 金曜日
 - ・ 藤花祭 (夏まつり) SAKIDS (ダンス)、和太鼓 (とっかあず)、学生 (8 名)、赤木医科 (2 名)、ライフケア (3 名)、白十字 (1 名)、本間様が参加
- ・ 音楽の時間 毎月 1 回開催
認知症ケアの一環として、毎月 1 回日曜日に音楽を通じて関わり方を学ぶ。

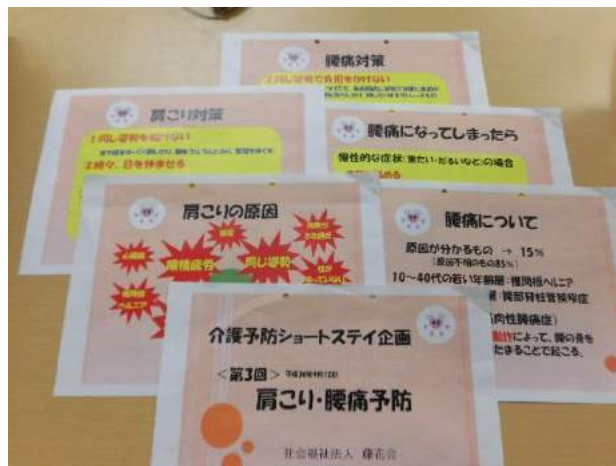


- ・ ふれあい親子食堂 毎月第 3 土曜日
地域に住まれている方々に施設を開放し、食堂形式で食事を食べていただく。



・介護予防ショートステイ（毎月開催）

テーマに合わせて機能訓練指導員による講話・体操・レクリエーションを実施。



(2) ボランティア

- ① 4月に福中地区の花見イベントに参加。
- ② 5月に福中地区、福山地区の用水清掃に参加。
- ③ 11月に福田地区の文化祭に参加。
- ④ 12月に福中地区のクリスマス会に参加。
- ⑤ 福祉の職場見学・体験ツアーにて3名の受入（中学生3名）

実習

- ① 介護福祉実習Ⅰ（せとうち特養）
岡山医療福祉専門学校より4名（9/9～9/12・9/17～9/20）
- ② 介護福祉実習Ⅱ（小規模）
岡山医療福祉専門学校より2名（5月・6月）

③ 喀痰吸引実地研修

外部より 2 名（8 月～9 月）

③ 介護福祉士実務者研修

ウエル福祉学習センターより 6 名（12/19～12/20）

(3) その他

パンの訪問販売…月 2 回（すだちの家）

移動スーパー…毎週木（とくし丸）

4. 会議・委員会等の運営

施設の管理・運営や援助方針の統一化を図るため各会議を定例的に行い、入居者の生活援助の向上と充実を図るため各職種の代表者により委員会を運営した。

会議・委員会名	実施内容
全体会議 (隔月第 4 火曜日)	奇数月第 4 火曜日に全職員参加で開催。各部署からの連絡事項の伝達、研修報告の他、法人・各委員会などが勉強会を実施している。（R02.4 月よりコロナの為中止）
全体研修 (隔月第 4 火曜日)	偶数月第 4 火曜日に全職員参加で開催。研修報告の他、法人・各委員会などが勉強会を実施している。（R02.4 月よりコロナの為中止）
部署間会議 (毎月第 2 火曜日)	施設長、副施設長、各リーダー、小規模管理者、居宅管理者、看護、ケアマネ、相談員、事務、機能訓練指導員が出席し、各事業所の運営状況、問題の把握と改善等について話し合う
フロア・ユニット会議 (毎月不定期)	フロア・ユニットごとに実施し、業務内容の確認、検討を行う
食事・レク 委員会 (毎月第 1 火曜日)	・法人内のレクリエーションやクラブ活動の検討、運営 ・入居者の状態に適した食事の検討を行い、食事に関する要望に対し、各ユニット・厨房との話し合いを行っている
事故防止委員会 (毎月第 2 火曜日)	・事故原因と対応策の検討。苦情・要望等の内容と対応経過についての報告、再発防止策を検討し、実施している。
感染症及び食中毒対策・ 褥創予防委員会 (隔月第 4 火曜日)	・感染症対策として研修を実施した（吐瀉物の処理方法、感染症、食中毒についてなど）。 ・褥瘡のある方の経過観察・報告を行っている。 ・インフルエンザ対策として職員・入居者に手洗い・うがいを徹底し、換気を励行。

身体拘束廃止・虐待防止委員会 (隔月第4火曜日)	・身体拘束「0」、虐待防止のための取り組みを検討・実施。 職員の虐待防止への意識を高める目的で、アンケートの実施や研修を行っている。
認知症ケア委員会 (毎月第1水曜日)	認知症ケアの推進や知識向上を目的として、職員への研修や利用者への音楽療法の取り組みを実施。
夏祭り実行委員会 (5月から9月まで 毎月第4木曜日)	夏祭りの企画・運営等行う。
接遇・研修委員会 (毎月第1月曜日)	施設内での接遇・研修活動の企画や運営を実施。また、職員の外部研修への検討も行う。
入居判定委員会 (基本 毎月第2火曜日)	入居候補の方を面接後、施設の受入を検討する

5. 防災計画

(1) 避難訓練

R01.3.19 日中新館2階からの出火を想定し、火災発見、通報、初期消火、避難場所（廊下）への避難誘導、消防本部の設置などの訓練を実施した。入居者の方にもご協力いただき、実際に誘導訓練も実施。



6. 研修

(1) 職員研修

別紙2 参照

(2) プリセプター制度

新規学卒職員に入社2～3年目の先輩職員が、現場で直接指導しながら相談に乗ったり、現状の課題分析や目標設定などを行いながら指導を行う。先輩職員には、年齢が近く、新人職員の気持ちを理解しやすい入社2～3年目の職員が就き、毎月面談と会議を実施してい

る。また 3 ヶ月に 1 回はリーダーも交えての会議を行い、新規学卒職員の成長に繋げている。

7. 事例検討

日常のケア・業務を意識化して「事例」として取り上げ、「検討」を加えることにより、職員の援助技術を高めることを目的として毎年取り組んでいる。せとうち特養から 4 グループ、せとうち小規模から 1 グループ、せとうちの郷から 1 グループを作り、テーマを決めて令和元年 6 月 1 日～11 月 30 日にかけて研究を行い、12/19 の全体研修にて発表を行った。

元年度のテーマ

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ・「ショート棟の流儀 2」 | 岩藤チーム |
| ・「持ち上げない介助」 | 豊田チーム |
| ・「ONETEAM ～そのひと手間でできること～」 | 雪吉チーム |
| ・「せとうちにおけるドックセラピーの導入について」 | 木谷チーム |
| ・「一歩一歩 ～顔なじみから作る信頼関係～」 | 吉田チーム |
| ・「Never Give Up 事故の起きにくいフロアへ」 | 宮本チーム |

令和元年度

事業報告

特別養護老人ホーム　せとうちの郷

小規模多機能ホーム せとうちの郷

1. 入居者の状況（令和2年3月31日現在）

(1) 長期入居

③ 入居者数

区 分		男	女	合 計	年 齢	
現入居者数		9人	20人	29人	最高齢	96歳
年間	入所	1人	3人	4人	最年少	73歳
	退所	2人	2人	4人	平均	87.1歳

④ 入居者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	0	0
60～69歳	0	0	0
70～79歳	2	2	4
80～89歳	6	8	14
90～99歳	1	10	11
100歳～	0	0	0
計	9	20	29

③入居者要介護度別一覧表（人）

要介護度	男	女	計
要介護1	0	0	0
要介護2	2	2	4
要介護3	2	3	5
要介護4	2	6	8
要介護5	3	9	12
計	9	20	29
平均介護度	3.9		

(2) 短期入居

① 利用状況 *平成31年4月～令和2年3月末までの総数

男	18	最高齢	100歳	実施日数	365日
女	30	最年少	62歳	利用延人数	3,401人
計	48	平均	86.2歳	一日当たり利用者数	9.2人

④ 利用者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	0	0
60～69歳	2	0	2
70～79歳	4	3	7
80～89歳	8	15	23
90～99歳	4	11	15
100歳～	0	1	1
計	18	30	48

要介護度	男	女	計
要介護1	2	6	8
要介護2	4	6	10
要介護3	3	7	10
要介護4	4	7	11
要介護5	5	4	9
計	18	30	48
平均介護度	3.3		

年度	提供月	ショートステイ					特養					合計	
		利用者数	延利用者数	平均利用者数	稼働率	平均要介護度	利用者数	延利用者数	平均利用者数	稼働率	平均要介護度	全体稼働率	平均利用者数
31年度元年度	4月	内 新規1)	271	9.0	90.3%	3.4	29	808	26.9	92.9%	4.0	92.2%	36.0
	5月	内 新規2)	289	9.3	93.2%	3.4	29	852	27.5	94.8%	3.9	94.4%	36.8
	6月	内 新規2)	281	9.4	93.7%	3.3	29	864	28.8	99.3%	3.9	97.9%	38.2
	7月	内 新規2)	280	9.0	90.3%	3.2	29	879	28.4	97.8%	3.9	95.9%	37.4
	8月	内 新規0)	304	9.8	98.1%	3.1	29	872	28.1	97.0%	3.9	97.3%	37.9
	9月	内 新規1)	279	9.3	93.0%	3.4	29	841	28.0	96.7%	3.9	95.7%	37.3
	10月	内 新規0)	287	9.3	92.6%	3.3	29	877	28.3	97.6%	3.9	96.3%	37.5
	11月	内 新規0)	288	9.6	96.0%	3.2	29	831	27.7	95.5%	4.0	95.6%	37.3
	12月	内 新規2)	275	8.9	88.7%	3.3	30	829	26.7	92.2%	3.9	91.3%	35.6
	1月	内 新規2)	271	8.7	87.4%	3.2	30	853	27.5	94.9%	3.9	93.0%	36.3
	2月	内 新規2)	274	9.8	97.9%	3.2	29	812	28.0	96.6%	3.9	96.9%	37.8
	3月	内 新規1)	302	9.7	97.4%	3.2	30	841	27.1	93.5%	3.8	94.5%	36.9
		H31.4～R23 平均	25.1	283.4	9.2	92.3%	3.3	29	846.6	27.8	95.9%	3.85	95.2%

(3) 小規模多機能ホーム

① 利用状況 *平成30年4月～平成31年3月末までの総数

男	12	最高齢	96歳	利用延人数（泊まり）	1,338人
女	15	最年少	73歳	利用延人数（通い）	5,886人
計	27	平均	86.6歳	利用延人数（訪問）	5,971人

⑤ 利用者の年齢構成（人）

年齢区分	男	女	計
40～59歳	0	0	0
60～69歳	0	0	0
70～79歳	2	4	6
80～89歳	3	10	13
90～99歳	7	1	8
100歳～	0	0	0
計	12	15	27

小規模多機能ホーム											月末契約者数	
月	契約数	契約率	泊まり	訪問	通い	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1	要支援2
4月	23名	92%	87	351	397	8	4	4	1	0	1	5
5月	23名	92%	101	443	437	9	4	2	1	1	1	5
6月	23名	92%	100	389	442	10	4	2	1	1	2	3
7月	22名	88%	49	471	430	9	5	3	0	0	2	3
8月	23名	92%	75	442	443	9	5	3	1	0	2	3
9月	25名	100%	127	425	503	10	5	3	1	0	2	4
10月	28名	97%	123	580	567	11	6	3	2	0	2	4
11月	27名	93%	147	612	536	10	6	2	2	1	2	4
12月	28名	96%	156	640	570	9	6	3	2	1	1	5
1月	28名	96%	124	571	525	9	7	3	2	1	1	5
2月	29名	100%	137	540	554	9	7	3	2	2	1	5
3月	27名	93%	112	507	482	8	6	4	2	1	2	4

2. 援助実施の状況

(3) 生活援助

① 食事の提供と援助

個別にご入居者一人ひとりに見合った適正な栄養管理を行い、季節感のある美味しい食事を提供できるよう努めた。当施設の食事として、毎月1日は赤飯の日とし、月2回はお寿司の日を設けている。また、年に1回行っている嗜好調査により、食べたいメニューや好きなメニューを取り入れた献立作成を行った。その他にも季節毎でさと食堂（昼食バイキング形式の食事）を設け、デザートバイキングや季節行事のメニュー、各フロアでの食事やおやつ作り、レストランなどへの外食を取り入れている。低栄養状態の改善に努めることで生活意欲の向上を図り、また栄養士、看護師を中心として体重の減少や極端な増加を予防することで健康の維持に努めた。誤嚥防止や一人ひとりのペースに合った食事の摂り方に取り組んできた。



(さと食堂)

② 入浴援助

ご入居者の身体状況に合わせ、個人浴槽か機械浴槽の中からより安全な入浴方法を選び、必要に応じて看護師も付き添いながら、最低週2回入浴を実施した。2階ユニットにおいては事例検討により同姓による入浴介助をおこなうようになり、現在も継続している。体調の悪い時は、清拭や陰部洗浄、足浴などで清潔保持に努めた。また、皮膚疾患があり清潔保持が必要なご入居者には適宜入浴やシャワー浴を追加した。

③ 排泄援助

個々の入居者の排泄リズムを把握し、トイレでの排尿・排便を可能な限り行った。介助の際には、羞恥心・プライバシーに配慮し、一人ひとりに見合ったオムツの使用及び交換に努め、不快感や不衛生の軽減に努めた。オシメ、パット等の見直しも行った。

④ 外出援助

行事や誕生日外出の他にも、外食、買い物、ドライブ、美容院などにより個別外出の機会を増やすよう努めた。自宅で家族との時間を過ごしていただけるよう、家族の協力の下、外出支援にも力を入れた。1年を通して安全に事故なく外出できた。



(お花見)



(藤公園)

(4) 健康管理

ご入居者の日常の健康状態については、常に情報把握するとともに、身体の変化、又は異常が認められた場合には、嘱託医の診察や状況報告を行い適切な対応を行った。

① 入居者の健康管理

毎日の健康状態を把握し、服薬、常備薬の管理及び往診、通院の調整を図った。また、秋にはインフルエンザの予防接種を実施した。

② 嘱託医師による定期的な診察

週1回水曜日に藤田病院山田先生の往診、随時中里歯科医院の往診を行った。

③ 健康診断 (藤田病院)

④ 協力病院との提携（入居者の通院及び入院）

⑤ 感染予防対策

環境衛生及び消毒の徹底、職員の手洗い・うがい、居室、フロアの換気の励行、来館者の手指の消毒・マスク着用の徹底、予防策周知に努めた。また、加湿器を使用して冬場の湿度管理を行った。

⑥ 職員の衛生管理

職員個々人の衛生管理、健康管理について適切な助言を行う。夜勤者以外の職員については年1回、夜勤者に対しては年2回の健康診断と腰痛検査を実施した。

⑦ 日常生活動作の維持

レクリエーションや生活の中で体を動かしていただく機会を作り、機能の維持に努めた。

(5) 機能訓練

個別訓練に加え、滑車運動やおもりを使用してのフロアでできる自主トレメニューを増やした。散歩や机上作業、コミュニケーション等を通して認知機能維持に努めた。ベッドやリクライニング車いす上でのポジショニング資料を作成、また状態変化があった際には他部署と連携し早急に対応した。

(6) 感染症対策

ご入居者、ご利用者及び職員ともに手洗い、うがい、手指消毒を徹底し、室内の換気を励行して集団生活下での感染症予防に努めたが、インフルエンザ感染があり（入所者及びショートステイ利用者0名、小規模多機能ホーム利用者0名、職員1名）、ノロウイルス感染はなかった。外部からの感染予防のため、職員は出勤時に健康チェック・検温を行い、施設に出入りする家族や業者関係者にも手洗いうがい、マスク着用、検温を励行した。

また、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2/26より面会制限を開始するとともに、業者関係者の出入り制限を行った。

(7) 生活環境の整備

ご入居者が居心地よく過ごせるように居室や各フロア的环境整備や雰囲気作りを行った。共同生活室には季節ごとの飾りつけを行い、また四季折々の花を生けて家庭的で明るい雰囲気作りにも努めた。

3. 行事・ボランティア・実習等について

(1) 行事

実施日	行事内容	場所
-----	------	----

4/22	ボランティア演奏 マイルドステップ	地域交流スペース
4/24	ボランティア 西大寺混声合唱団	地域交流スペース
5/1	令和元年記念 植樹祭	敷地内庭園
5/30	ごみゼロの日	施設周辺
6/5	芋の苗植え(めぐみこども園合同)	地域交流スペース前畑
6/22	運動会	地域交流スペース
8/3	さとカフェ	地域交流スペース
8/6	健康教室「音楽療法」	地域交流スペース
8/16	足湯でかき氷	足湯スペース
8/21	夕涼み会	足湯スペース
9/14	敬老会	地域交流スペース
9/26	屋台らーめん(らーめん電幸)	正面玄関前
10/26	秋祭り	駐車場
10/30	芋掘り(めぐみこども園合同)	地域交流スペース前畑
11/18	POLAハンドマッサージ	地域交流スペース
11/21	ボランティア演奏 フォークフレンズ	地域交流スペース
12/14	忘年会バイキング	各階フロア
12/18	ボランティア トーンチャイムコンサート	地域交流スペース
12/26	もちつき大会	地域交流スペース
1/15	とんど焼き	地域交流スペース前畑
1/25	西大寺高校茶道部 お茶会	地域交流スペース
2/3	恵方巻き作り・豆まき	各階フロア
2/25	にぎり寿司	各階フロア



(令和元年記念植樹祭)



(敬老会 K♪くすのきコーラス)

ス)

【定期的な行事】

- ・パン販売（月曜日）
- ・移動販売とくし丸（水曜日）
- ・足湯の日（金曜日）
- ・理美容（第1月曜日）
- ・音楽療法（第2木曜日）
- ・さと食堂（4月・7月・11月・3月）
- ・にこにこ会(水曜日、第2・第4木曜日)



（足湯の日 足湯でかき氷）



（にこにこ会 音楽療法）

(4) ボランティア

- ・マイルドステップ
- ・西大寺混声合唱団
- ・西大寺高校茶道部
- ・K♪くすのきコーラス
- ・和太鼓*笑
- ・フォークフレンズ
- ・IPU 環太平洋大学
- ・備前緑陽高等学校
- ・その他、個人ボランティア

(5) 職場体験学習（5名）

- ・旭東中学校 5名（3日間）



(西大寺高校茶道部 お茶会)

(環太平洋大学 ボランティア)

4. 会議・委員会等の運営及び職員研修

施設の管理・運営や援助方針の統一化を図るため各会議を定例的に行い、入居者の生活援助の向上と充実を図るため各職種の代表者により委員会を運営した。職員研修では、経験や職種に応じた外部研修に参加するとともに、施設内でも定期的に研修を行うことで専門的な知識や技術の向上に努めた。

会議・委員会名	実施内容
全体会議	奇数月第4金曜日に全職員参加で開催し、各委員会からの報告、研修（嘔吐物の処理方法、認知症ケア、車両事故防止）などを行う。
部署間会議	各部署の責任者が出席し、特養・ショートステイ・小規模の現況報告、施設の経営状況や今後の課題等の検討を行う。
フロア会議	フロアごとに実施し、業務内容の確認、検討を行う。
食事・レク 委員会	施設全体のレクリエーション行事の運営を行っている。入居者の状態に適した食事の検討を行い、食事に関する要望に対し、各部署と厨房との話し合いを行っている。
事故防止委員会	事故原因と対応策を検討するとともに、災害時の避難訓練や車両事故の防止、啓発活動に努めている。
身体拘束廃止・ 虐待防止委員会	身体拘束「0」を目指しての取り組みを検討・実施している。外部の参加し他施設での虐待事例などを職員へ周知している。
感染症防止・ 褥瘡予防委員会	感染症対策として吐瀉物の処理方法、感染症、食中毒についての勉強会を実施した。インフルエンザ対策として職員・入居者に手洗い・うがいを徹底し、換気を励行。褥瘡のある方の経過観察・報告を行っている。
行事委員会	第1水曜日に委員会を開催し施設全体行事の運動会、敬老会、秋祭りの企画運営を行う。
研修員会	第3水曜日に委員会を開催し年間の研修計画を立案し職員の資質向上に努めている。
入居判定委員会	入居候補の方を面接後、岡山県の入所指針に基づき施設での受入を検討する。

<p>全体研修</p>	<p>偶数月第 4 金曜日に全職員を対象に開催し、外部講師による専門的な知識や技術の向上や外部研修に参加した職員による伝達研修などを行っている。（詳細は 11～12 ページ参照）</p>
-------------	---

5. 防災計画

(1) 避難・消火訓練など

- 5/17 3階で夜間を想定して、火災発見・通報・初期消火・一時避難場所への誘導などの訓練を行う。
- 7/12 夜間に新堀川の水位が上昇したことを想定して、小規模利用者を 2 階に避難誘導を行う、水害避難訓練を行う。
- 11/8 1 階厨房より出火をしたと想定して、火災発見・通報・初期消火・一時避難場所への誘導などの訓練を行う。



(避難訓練)



(防災の日 防災食)

(2) 防犯安全対策

事務所受付で来客者の確認を行い入館者には名札を渡している。3 ヶ月毎に電気錠の暗証番号を変更するなどして安全の確保に努めた。また、事務所職員が退勤後は、面会時間終了の 20 時まで宿直職員が事務所に待機をしている。

6. 事例検討

日常のケア・業務を意識化して「事例」として取り上げ、「検討」を加えることにより、職員の援助技術を高めることを目的として毎年取り組んでいる。せとうちの郷からは 2 グループ（1 グループ 10 名まで）を作り、テーマを決めて令和元年 6 月 1 日～11 月 30 日にかけて研究を行い、12/19 の事例検討プレゼン大会にて発表を行った。投票で上位に選ばれた 2 チームが 3 月に神戸で行われる「第 19 回気づきを築くユニットケア全国実践者セミナー」

一」に参加し、実践発表を行う予定であったが新型コロナウイルスの影響により中止となったため参加できなかった。

また、前年度に同セミナーで発表した「I♡(ラブ)NY(入浴)～私たちが入りたいと思えるお風呂へ～」のアンコール発表依頼があり、発表する予定でもあった。

令和元年度のテーマ

- ・「Never give up 事故の起きにくいフロアへ」
- ・「一步一步 ～顔なじみから作る信頼関係～」

令和元年(平成31年)度階層別研修(せとうちの郷)

目 標	新卒者(1年目)新人(2年目以下)職員研修…社会人としての自覚と基礎的技術・知識の習得
	中堅職員研修(新卒・新人・リーダー・サブリーダー)…実践的専門的な知識・技術の習得、問題解決能力の向上
	指導的職員研修(リーダー・サブリーダー等)…職員指導・研修に関する知識技術の向上

2020/4/13 現在

月	日	研修内容	主催者 (講師)	新人	中堅	指導的	全体 研修	外部 研修	人数	参加者
4	1~4	新人研修	法人	○					3	岡竹・熱田・永瀬
	3	普通救命講習 3H	瀬戸内消防本部	○	平成30年度中途入職者等				4	岡竹・熱田・永瀬・忠重

	26	全体研修（薬について）	あおば薬局	○	○	○	○		21	職員
5	29	新人スタッフとの関わり方	岡山県介護支援専門員協会		○	○		○	1	福本
	31	事故発生予防研修①安全運転 感染症及び食中毒予防研修①食中毒	安全運転管理者 感染症及び食中毒対策委員会	○	○	○	○		25	職員
6	6	採用強化体験セミナー	リコー株式会社			○		○	1	正富
	27	岡村一心堂病院施設職員との連携交流会	岡村一心堂医療福祉連携部		○	○		○	5	施設長・正富・ 高山・柳瀬・奥 山
	28	全体研修（ハリーコール）	研修委員会	○	○	○	○		21	職員
7	1	介護の魅力再発見	岡山市保健福祉局高齢福祉部	○	○			○	2	早瀬・福本
	2	岡山県福祉介護職員合同入職式	岡山県	○				○	1	岡竹
	18	感染症対策研修（手指衛生の基本）	藤田病院 院内感染対策委員会			○		○	1	上田
	19	人権擁護研修 水害時の対応について	虐待防止委員会 事故防止委員会	○	○	○	○		25	職員
	27	令和元年度岡山県看護連盟西大寺支部研修会	岡山県看護連盟西大寺支部		○	○		○	1	上田
	30	福祉人材確保セミナー	岡山県社会福祉協議会	○	○	○		○	2	施設長・正富
8	21・22 28・29	介護福祉士実習指導者講習会	岡山県介護福祉士会			○		○	1	柳瀬
	23	全体研修（介護保険制度について）	研修委員会	○	○	○	○		21	職員
	27	岡山県経営者セミナー（前期）	岡山県社会福祉法人経営者 協議会			○		○	1	施設長
9	11	地域共生社会と社会福祉法人の地域における公益的な取り組み推進フォーラム	岡山市社会福祉協議会			○		○	1	正富
	11・18	安全運転講習（福祉車両の使い方）	安全運転管理者	○	○	○			13	職員
	19・24	コミュニティソーシャルワーク研修	岡山県社会福祉協議会			○		○	1	高山
	24	子どもの居場所づくりネットワーク交流会	岡山市社会福祉協議会		○	○		○	2	正富・早瀬
	25	褥瘡予防研修 口腔ケア研修	褥瘡予防委員会 中里歯科医院	○	○	○	○		23	職員
10	21	働き方改革の概要と対応策	岡山県介護事業所運営向上 ネットワーク			○		○	1	正富
	25	全体会議（経管栄養と注入について）	研修委員会	○	○	○	○		25	職員
11	5	腰痛予防対策講習会	中央労働災害防止協会		○	○		○	2	堀野・平野
	6	介護労働者雇用管理責任者講習会	介護労働安定センター			○		○	1	正富

	9	医療連携交流会	岡村一心堂病院		○	○		○	2	豊田・早瀬
	13	「認知症に対するレクリエーション」研修	わんこネット	○	○	○		○	2	田中・石原・松原・田邊
	14	地域連携カンファレンス	岡山旭東病院		○	○		○	1	早瀬
	22	虐待防止研修 感染症及び食中毒予防研修②感染症	虐待防止委員会 感染症及び食中毒対策委員会 研修委員会	○	○	○	○		29	職員
	22	「同一労働同一賃金」で求められる企業対応とは	笹井社会保険労務士事務所・笹井茂樹			○		○	1	正富
	24	地域共生ホーム 全国セミナー	地域共生ホーム全国セミナーinとやま実行委員会		○	○		○	1	田中
	27	地域共生社会を夢見た人々	山陽放送学術文化財団	○	○	○		○	1	正富
12	19	事例検討発表会(せとうち)	事例チーム	○	○	○	○		24	職員
	11~14	全体研修	法人	○	○	○	○		57	職員・家族会
1	27	腰痛予防研修 身体拘束防止研修①	研修委員 身体拘束防止委員会	○	○	○	○		28	職員
2	28	全体研修	研修委員	○	○	○	○		0	中止
3	7・8	第19回気づきを築くユニットケア全国実践研修フォーラム	ユニットケア研究会		○	○			4	中止
	27	身体拘束防止研修② 事故発生予防研修②	身体拘束防止委員会 事故防止安全管理委員会	○	○	○	○		23	職員

※太字は奇数月の全体会議の際に全体研修を行う。